

# 2022年度 自己評価・学校関係者評価・第三者評価報告書

自令和4年4月1日 至令和5年3月31日

学) そだちの園 さかのうえようちえん

## 1. 本園の教育目標

- 1) 健全な心身の発達を促す
- 2) 自立した生活習慣を身につける
- 3) 感謝の心を養う
- 4) 思いやりのある人に
- 5) 最後まで頑張る

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 1) より教育効果のある教育活動中の関わり方を模索すること
- 2) 研修等による教職員の資質向上を目指すこと
- 3) 安全管理、事故防止を再点検し、見直すこと

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	より教育効果のある教育活動中の関わり方を模索すること	B	保育における効果的な関わり方の事例の記録が定着してきた
2	研修等による教職員の資質向上を目指すこと	A	定期的な園内研修を実施できた
3	安全管理、事故防止を再点検し、見直すこと	B	研修を実施し、マニュアルの内容見直しを進めた

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	園内研修により、保育の質の向上には一定の効果があった一方で、事例を整理し、保育に活かせる環境の準備をさらに進める必要があるため。また、安全管理、事故防止について、マニュアルの見直しを完了させ、さらに周知する必要があるため。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	活動毎の記録	月案に基づく活動について、それぞれの留意点や事例を記録し、まとめる。
2	園内研修	指導役となる教師を育成する。
3	安全管理	マニュアルを見直し、周知徹底する。

## 6.学校関係者の評価

新型コロナウイルスが収束に向かったのもあり、保育活動の制限が少なくなっていった一年だった。活動内容が充実したのを感じる。今後、新型コロナウイルスの収束を機に、保護者にも積極的に理解してもらう環境が整えられることを期待する。

評議員 高橋 徹

保育内容が定着してきた。また、教師の退職も減っている印象を持っている。教師の指導力の向上にさらに努めてもらいたい。

卒園児保護者 佐藤 暢子

## 7.第三者の評価

園児主体の活動、また指導案や月案と、それぞれの反省の記録が定着してきた。これらを活用し、保育内容の改善を続けていくことを期待する。また、2歳からの教育活動の効果を鑑み、教育内容の再検討を進めることを期待する。

千里敬愛幼稚園 園長 小谷 隆真